

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況(連結) 平成 18 年 7 月 31 日

上場会社名 **株式会社 JALUX** (ジャルックス) コード番号 2729 東証第1部
(URL <http://www.jalux.com/>) 本社所在都道府県 東京都

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 岡崎 俊城
問合せ先責任者 役職名 経 理 部 長 氏名 立石 修 TEL (03) 5460 - 7230

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率を用いて計算しています。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績概況(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	25,476	(11.3)	573	(48.1)	624	(55.0)
18 年 3 月期第 1 四半期	22,897	(14.7)	387	(24.3)	403	(17.1)
(参考) 18 年 3 月期	107,952	(9.5)	2,444	(10.8)	3,212	(11.6)

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 1 四半期	227	(78.4)	18	02	-	-
18 年 3 月期第 1 四半期	127	(28.1)	10	39	-	-
(参考) 18 年 3 月期	1,689	(17.7)	132	57	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

(参考) 第 1 四半期個別経営成績等の概況(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	22,585	(9.5)	312	(16.9)	360	(15.7)
18 年 3 月期第 1 四半期	20,627	(12.6)	267	(45.6)	311	(45.0)
(参考) 18 年 3 月期	97,847	(9.7)	2,167	(7.4)	2,448	(6.8)

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
19 年 3 月期第 1 四半期	37,233	13,969	35.3	1,031	29			
18 年 3 月期第 1 四半期	32,303	11,486	35.6	900	16			
(参考) 18 年 3 月期	37,563	13,224	35.2	1,036	14			

3. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	52,500	1,350	600			
通 期	111,000	3,400	1,700			

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 133円22銭

平成 18 年 5 月 9 日に発表いたしました当初の業績予想と変更はありません。
上記の予想は、作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要素により、これらの見通しとは異なる結果となる可能性があります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期(平成18年4月1日から同6月30日まで)は、一般消費動向など概ね堅調な環境のもと一層の事業拡充に努め、航空関連、生活関連、顧客サービスの各セグメントとも順調に推移いたしました。

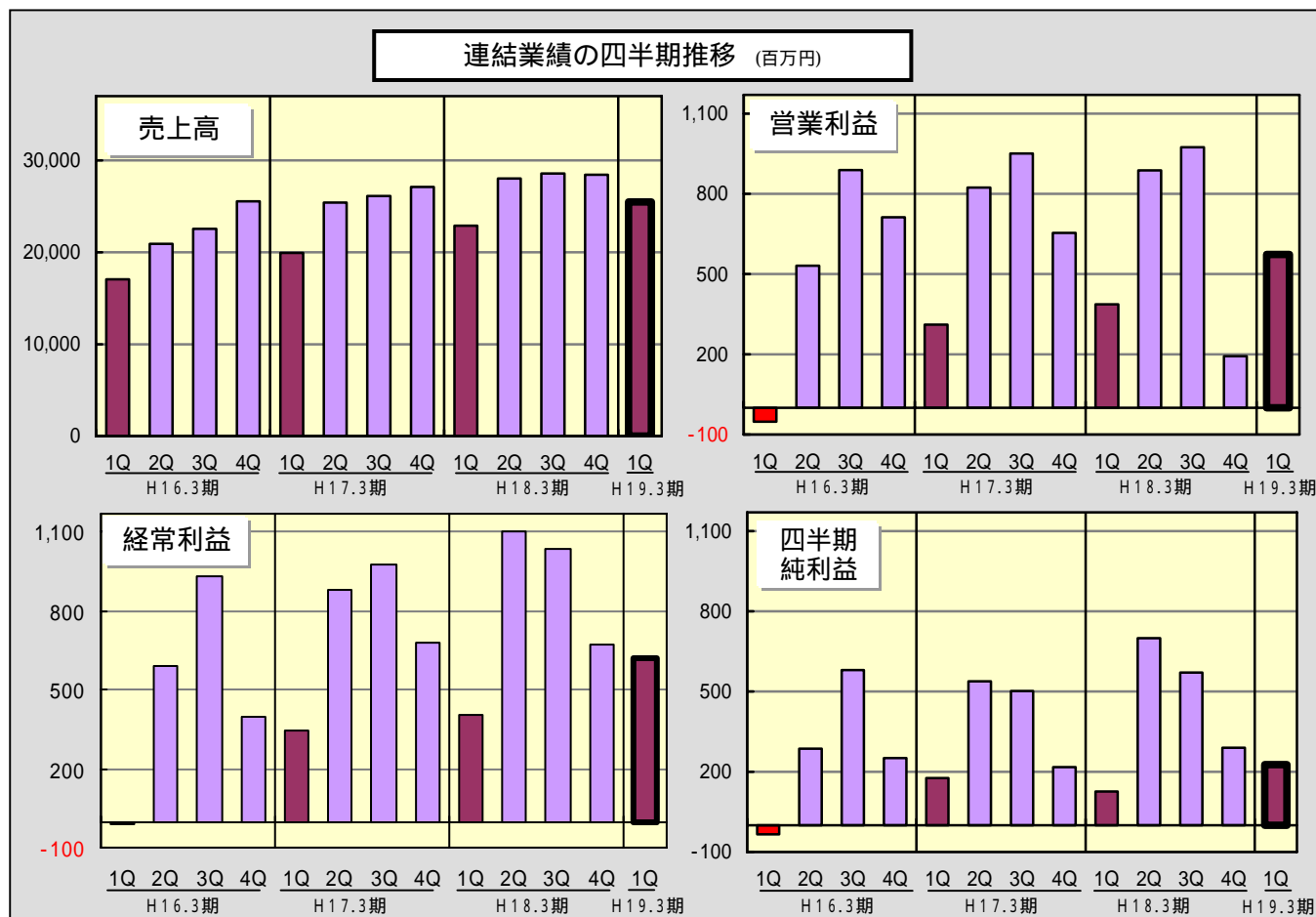
特に、航空関連事業では、平成16年から新たなビジネスモデルとしてスタートした、航空機エンジン部品の保管・供給ビジネスにおける増収などにより、好調な実績をおさめました。

また、顧客サービス事業では、成田空港免税店「JAL-DFS」や国内空港店舗「BLUE SKY」が順調に推移し増収となりました。

これらにより、当第1四半期の売上高は25,476百万円と前年同期を上回りました。さらに、販売費及び一般管理費の増加抑制など効率化の推進により営業利益は573百万円、持分法投資利益などの営業外収益により経常利益は624百万円と、いずれも前年同期を大幅に上回りました。これに、固定資産処分損などの特別損益および税金費用を加減した第1四半期純利益は227百万円となり、第1四半期としての最高益を更新いたしました。

尚、中間期連結業績予想に占める進捗率としては、経常利益で46%、純利益で38%程度の水準となりますが、事業の特性として、例年、夏期の旅行シーズン、贈答期(中元、歳暮、クリスマス)、年末などを含む、第2および第3四半期の利益の比重が高いことから、当第1四半期の業績は、期初予想水準との比較においても順調に推移いたしました。

連結業績 (金額単位:百万円)	前第1四半期 (平成17年4~6月)	当第1四半期 (平成18年4~6月)	前期比(%)	前期差
売上高	22,897	25,476	111.3	2,578
営業利益	387	573	148.1	186
経常利益	403	624	155.0	221
四半期純利益	127	227	178.4	99



当第1四半期のセグメント別の概況

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。なお、各業績数値は、セグメント間売上高または振替高及び配賦不能営業費用を調整前の金額です。

また、企画制作および商品開発機能の集約による事業の強化・効率化のため、印刷・メディア部門と、商品企画販売（販促品・雑貨卸等）部門を「生活関連事業」に再編いたしました。これに伴い、従来「顧客サービス事業」に含めて表示していた印刷・メディア部門の業績は、当第1四半期より「生活関連事業」に含めて表示しています。なお、以下の「生活関連事業」「顧客サービス事業」の前期（四半期）業績数値も、再編後の新たな区分を基準とした数値に置き換えて表示しています。

航空関連事業

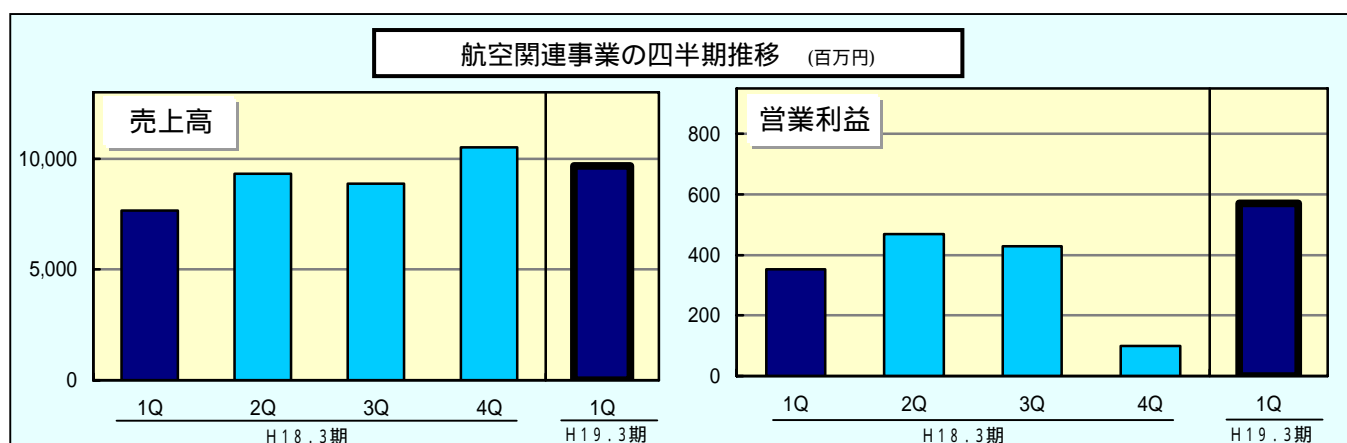
航空機・燃料・機材関連では、平成16年からスタートした、航空機エンジン部品の保管・供給ビジネス*において、前期に引き続き順調に国内重工業向けの取扱高を拡大いたしました。また、中古航空機や空港用特殊車両の販売等においても、JALグループ外企業への売上高を拡大するなど、好調に推移いたしました。

*航空機エンジン修理に必要な輸入部品を在庫（保管）し、品質を管理しながらタイムリーに納入する供給システム

航空客室関連では、機内販売用および空港免税店用の免税品卸販売や、客室用品・制服等の調達事業など、概ね順調に推移いたしました。

これらの結果、**売上高** 9,683百万円、**営業利益** 571百万円と、いずれも前年同期を上回りました。

航空関連事業 (金額単位:百万円)	前第1四半期 (平成17年4～6月)	当第1四半期 (平成18年4～6月)	前期比(%)	前期差
売上高	7,664	9,683	126.3	2,018
営業利益	353	571	161.5	217



生活関連事業

フーズ・ビバレッジ関連では、冷凍水産物や青果物の輸入販売で、付加価値販売の奏功等により前期に引き続き順調な実績をおさめるとともに、加工食品においても「JAL SELECTION デスカイシリーズ」の「スカイタイム ゆず」(飲料)や「ドライなっとう」、また、新商品として前期に販売を開始したフリーズドライ食品「みそ汁ですかい」「おかゆですかい」「雑炊ですかい」などが順調に推移いたしました。また、「選べるギフト*」などの贈答用商品においては、受注を拡大するとともに効率化を推進し、収益の拡大に寄与いたしました。

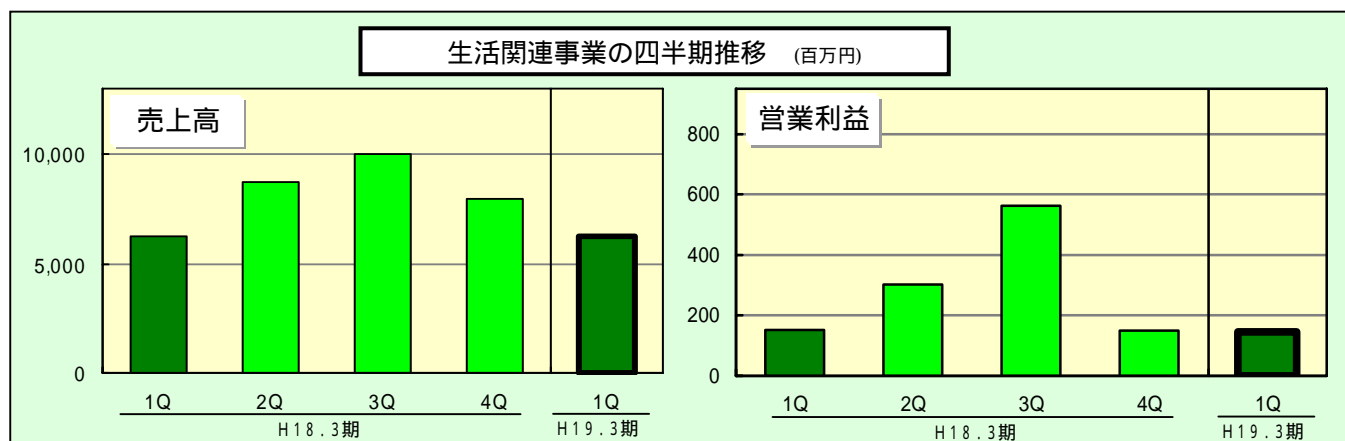
*デパート等で販売用の贈答商品。ギフトを贈られたお客様が複数商品（食品等）の中から希望の品を選び、その指定に基づきお客様へ商品を配送。JALUXは、デパートやコンビニ・チェーン向けに、承りからお届けまでの業務受託も包括し「選べるギフト」の販売を行っています。

雑貨・メディア関連では、法人向けのセールスプロモーション関連などが順調に推移いたしました。また、雑貨卸し商材や印刷メディアの一部で受注が伸び悩みました。

通販関連では、カタログ通販において、DMカタログ「JAL World Shopping Club」や別冊食品カタログ「グルメ・ファーストクラス」などで順調に実績を伸ばしました。

これらの結果、**売上高** 6,245 百万円、**営業利益** 145 百万円となりました。

生活関連事業 (金額単位:百万円)	前第1四半期 (平成17年4～6月)	当第1四半期 (平成18年4～6月)	前期比(%)	前期差
売上高	6,242	6,245	100.0	2
営業利益	153	145	95.0	7



顧客サービス事業

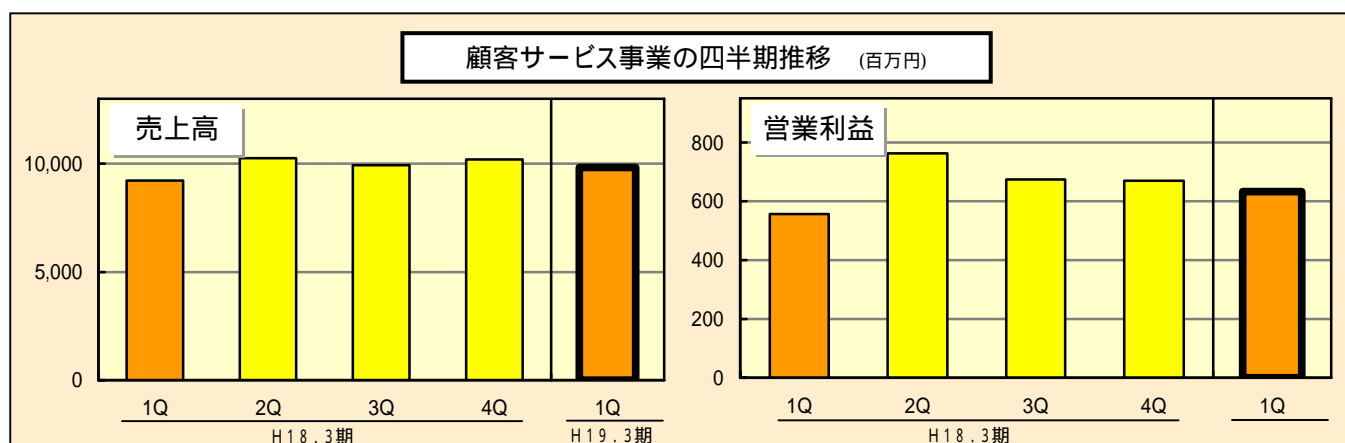
ライフデザイン関連では、平成16年よりスタートした「JAL パッケージズ*」の販売サポートが前期に引き続き好調に推移し、収益の向上に寄与いたしました。

*ハワイを中心とするリゾート不動産の権利を週単位で販売する、リゾート物件共有(タイムシェア)システム

店舗関連では、国内空港店舗「BLUE SKY」で、営業の譲り受けにより本年4月に規模を拡大(712店舗)した新千歳空港店と、前期においてターミナル再編により減収となった羽田空港店において、事業効率の向上により増収増益となるなど、順調な実績をおさめました。また、成田空港免税店「JAL-DFS」(第2ターミナル)では、4～5月の好調な実績により当第1四半期は増収増益となりましたが、期初より想定していた、ターミナル再編(6月)に伴う空港(第2ターミナル)利用者数の減少により、顧客数が減少し、6月は減収となりました。

これらの結果、**売上高** 9,824 百万円、**営業利益** 632 百万円と、いずれも前年同期を上回りました。

顧客サービス事業 (金額単位:百万円)	前第1四半期 (平成17年4～6月)	当第1四半期 (平成18年4～6月)	前期比(%)	前期差
売上高	9,211	9,824	106.7	613
営業利益	557	632	113.4	74



[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末（平成18年6月30日）の総資産は、前期末と比べ329百万円減少し、37,233百万円（前期末比99.1%）となりました。これは、前年同期と同様、当第1四半期（主として5月、6月）の売上高及び仕入高が、年度末であった前第4四半期（主として2月、3月）を下回ったため、それに伴い売掛金と買掛金が減少したためです。また、長期及び短期の借入金が増加していますが、これは当社における新基幹システムの構築費用や販売用不動産の購入費用、また、新たに取得した空港店舗の入居時差入保証金の支払い等に使用したためです。

（添付資料）

1. 四半期要約連結貸借対照表
2. 同 要約連結損益計算書
3. 同 要約連結株主資本等変動計算書
4. 同 事業の種類別セグメント情報

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当第1四半期末 (平成18年6月30日)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日)		対前期末比	前第1四半期末 (平成17年6月30日)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)						
流動資産						
現金及び預金	4,682,821		4,954,081			4,578,198
受取手形及び売掛金	11,161,178		11,376,827			8,795,781
たな卸資産	5,759,268		5,653,412			5,340,322
その他	3,523,336		3,361,652			3,121,271
貸倒引当金	43,542		43,653			34,325
流動資産合計	25,083,062	67.4	25,302,319	67.4	219,256	21,801,248
固定資産						
有形固定資産	5,284,890	14.2	5,384,936	14.3		4,681,587
無形固定資産	1,320,893	3.5	1,257,958	3.3		514,557
投資その他の資産						
投資有価証券	2,497,173		2,481,657			2,189,064
長期貸付金	552,014		462,941			497,145
長期差入保証金	1,881,576		1,917,076			1,897,812
その他	747,081		888,839			878,237
貸倒引当金	133,129		132,315			156,109
投資その他の資産合計	5,544,716	14.9	5,618,199	15.0		5,306,149
固定資産合計	12,150,500	32.6	12,261,094	32.6	110,593	10,502,294
資産合計	37,233,563	100.0	37,563,414	100.0	329,850	32,303,542
(負債の部)						
流動負債						
支払手形及び買掛金	11,090,439		11,854,649			9,269,251
短期借入金	4,111,677		2,999,361			2,920,799
未払費用	1,811,647		2,267,168			1,798,775
その他	2,093,632		2,836,011			2,874,225
流動負債合計	19,107,397	51.3	19,957,190	53.2	849,793	16,863,051
固定負債						
長期借入金	3,290,959		2,549,370			2,381,269
退職給付引当金	239,951		283,616			341,568
その他	625,873		667,310			499,950
固定負債合計	4,156,785	11.2	3,500,298	9.3	656,486	3,222,788
負債合計	23,264,183	62.5	23,457,489	62.5	193,306	20,085,839
(少数株主持分)						
少数株主持分	-		881,358	2.3		730,872
(資本の部)						
資本金	-		2,558,550	6.8		2,558,550
資本剰余金	-		711,363	1.9		711,296
利益剰余金	-		9,992,376	26.6		8,430,569
その他有価証券評価差額金	-		22,663	0.0		10,413
為替換算調整勘定	-		51,101	0.1		214,986
自己株式	-		9,284	0.0		9,013
資本合計	-		13,224,566	35.2		11,486,830
負債、少数株主持分及び資本合計	-		37,563,414	100.0		32,303,542

区分	当第1四半期末 (平成18年6月30日)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日)		対前期末比	前第1四半期末 (平成17年6月30日)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	2,558,550	6.9	-			-
資本剰余金	711,363	1.9	-			-
利益剰余金	9,937,258	26.7	-			-
自己株式	9,396	0.0	-			-
株主資本合計	13,197,774	35.5	-			-
評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	19,474	0.0	-			-
繰延ヘッジ損益	7,714	0.0	-			-
為替換算調整勘定	49,597	0.1	-			-
評価・換算差額等合計	37,838	0.1	-			-
少数株主持分	809,443	2.2	-			-
純資産合計	13,969,380	37.5	-			-
負債、純資産合計	37,233,563	100.0	-			-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)		前第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)		対前年同期比	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
売上高	25,476,322	100.0	22,897,877	100.0	2,578,445	107,952,007
売上原価	19,752,205	77.5	17,560,664	76.7	2,191,540	84,595,451
売上総利益	5,724,117	22.5	5,337,212	23.3	386,904	23,356,555
販売費及び一般管理費						
給料及び手当	2,043,322		1,973,699			7,906,162
退職給付費用	44,448		57,083			246,246
賃借料	1,179,064		1,117,433			4,689,576
減価償却費	93,182		95,013			374,795
役員退職慰労引当金繰入額	12,830		14,038			52,500
その他	1,777,773		1,692,833			7,642,616
販売費及び一般管理費合計	5,150,621	20.2	4,950,103	21.6	200,518	20,911,898
営業利益	573,495	2.3	387,109	1.7	186,386	2,444,656
営業外収益						
受取配当金	11,395		7,475			36,556
持分法による投資利益	23,967		-			108,864
為替差益	8,321		17,295			583,288
その他	39,767		25,558			149,990
営業外収益合計	83,452	0.3	50,329	0.2	33,122	878,699
営業外費用						
支払利息	21,556		14,767			94,722
持分法による投資損失	-		11,979			-
その他	10,571		7,680			15,683
営業外費用合計	32,128	0.1	34,427	0.1	2,299	110,405
経常利益	624,819	2.5	403,010	1.8	221,808	3,212,950
特別利益	4,399	0.0	10,928	0.0	6,529	148,884
特別損失	31,053	0.1	156	0.0	30,896	192,073
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	598,165	2.4	413,782	1.8	184,383	3,169,761
税金費用	322,520	1.3	251,555	1.1	70,964	1,295,936
少数株主利益	48,331	0.2	34,792	0.1	13,538	184,584
第1四半期(当期)純利益	227,314	0.9	127,434	0.6	99,879	1,689,240

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰 余金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計		
前期末残高	2,558,550	711,363	9,992,376	9,284	13,253,004	22,663	-	51,101	28,437	881,358	14,105,924
当四半期変動額											
持分法適用関連 会社の増加	-	-	24,082	-	24,082	-	-	-	-	-	24,082
剰余金の配当	-	-	306,515	-	306,515	-	-	-	-	-	306,515
当期(四半期)純 利益	-	-	227,314	-	227,314	-	-	-	-	-	227,314
自己株式の取得	-	-	-	111	111	-	-	-	-	-	111
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-	3,189	7,714	1,504	9,400	71,914	81,314
当四半期変動額 合計	-	-	55,118	111	55,230	3,189	7,714	1,504	9,400	71,914	136,544
当期末残高	2,558,550	711,363	9,937,258	9,396	13,197,774	19,474	7,714	49,597	37,838	809,443	13,969,380

4. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
.売上高及び営業損益						
売上高						
1. 外部顧客に対する売上高	7,468,503	5,014,794	10,414,578	22,897,877	-	22,897,877
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	196,457	17,425	-	213,882	(213,882)	-
計	7,664,960	5,032,219	10,414,578	23,111,759	(213,882)	22,897,877
営業費用	7,311,404	4,995,402	9,740,859	22,047,666	463,101	22,510,768
営業利益	353,556	36,816	673,719	1,064,092	(676,983)	387,109

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

- (1) 航空関連事業 航空機、航空機部品、航空燃料、機械・資材、航空客室用品、航空機内販売品、繊維用品【業務受託、卸販売等】
- (2) 生活関連事業 雑貨・宝飾、農水産物、加工食品、贈答用食品、ワイン・洋酒【カタログ・WEB通販、卸販売等】
- (3) 顧客サービス事業..... 印刷メディア、ライフデザイン(保険・FP、不動産等) 空港店舗「BLUE SKY」、空港免税店「JAL-DFS」

3. 当第1四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は676,841千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

当第1四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
.売上高及び営業損益						
売上高						
1. 外部顧客に対する売上高	9,433,888	6,217,550	9,824,883	25,476,322	-	25,476,322
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	249,369	28,051	-	277,421	(277,421)	-
計	9,683,257	6,245,601	9,824,883	25,753,743	(277,421)	25,476,322
営業費用	9,112,244	6,100,135	9,192,558	24,404,938	497,888	24,902,826
営業利益	571,012	145,466	632,325	1,348,805	(775,310)	573,495

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

- (1) 航空関連事業 航空機、航空機部品、航空燃料、機械・資材、航空客室用品、航空機内販売品、繊維用品【業務受託、卸販売等】
- (2) 生活関連事業 雑貨・宝飾、農水産物、加工食品、贈答用食品、ワイン・洋酒 印刷メディア【カタログ・WEB通販、卸販売等】
- (3) 顧客サービス事業..... ライフデザイン(保険・FP、不動産等) 空港店舗「BLUE SKY」、空港免税店「JAL-DFS」

3. 当第1四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は774,196千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

(追加情報)

当第1四半期では、組織再編に伴い、前第1四半期で顧客サービス事業に計上されていた印刷、メディア用品の金額が生活関連事業に変更されています。この結果、前第1四半期と同様の区分による場合に比べ、当第1四半期において顧客サービス事業の売上高は1,178,582千円減少し、営業利益は108,891千円減少しています。一方、生活関連事業の売上高は1,185,156千円増加し、営業利益は108,891千円増加しています。

尚、前第1四半期のセグメント情報を、当第1四半期と同様の区分の方法により区分すると次のとおりになります。

前第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
.売上高及び営業損益						
売上高						
1.外部顧客に対する売上高	7,468,503	6,217,914	9,211,458	22,897,877	-	22,897,877
2.セグメント間の内部売上高 又は振替高	196,457	24,749	-	221,207	(221,207)	-
計	7,664,960	6,242,664	9,211,458	23,119,084	(221,207)	22,897,877
営業費用	7,311,404	6,089,569	8,654,017	22,054,991	455,776	22,510,768
営業利益	353,556	153,094	557,441	1,064,092	(676,983)	387,109